

令和 4年度

事務事業評価表 ( 令和 3年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 4 年 4 月 18 日

事務事業名		コンビニ交付サービス事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	060304001017
						単独/補助	単独		
政策体系		政策体系上の位置付け							
総合計画の施策名		0603 時代に合った自治体運営				所属課			
政策名		06 みんなで築く自治のまちづくり				010201			
施策名		03 時代に合った自治体運営				課長名			
手段名		04 ④適確な市民サービスの提供と個人情報の保護				グループ			
						担当者名			
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	一般会計	単年度繰返し (平成30年度~)
		01	02	01	09	01	00	情報管理事業	期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入
法令根拠									

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像) マイナンバーカードを利用して、住民票の写し等の各種証明書がコンビニエンスストア等に設置されているキオスク端末で取得できるサービスを提供する。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・条例等の改正 ・特定個人情報保護評価の実施 ・試験及び運用体制の調整

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移								
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
・条例等の改正 ・特定個人情報保護評価の実施 ・試験及び運用の調整	対応した作業時間	時間	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	
住民	桜川市人口	人	39,122.00	38,422.00	37,852.00	37,282.00	36,712.00	
	マイナンバーカード取得者数	人	8,282.00	12,693.00	16,000.00	20,000.00	24,000.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	
コンビニエンスストア等で証明書を発行できるようにする。	コンビニ交付利用件数	件	852.00	1,780.00	2,400.00	2,700.00	3,400.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量 (事業費) の推移				02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0		
			使用料・手数料	千円	2,303	2,376	0		
			その他	千円	0	0	0		
			一般財源	千円	4,442	2,170	4,629		
			事業費計(A)	千円	6,745	4,546	4,629		
		正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人			

03年度事業費 実績 (千円)				04年度事業費 予算 (千円)			
11 役務費		13		11 役務費		15	
13 使用料及び賃借料		2,314		13 使用料及び賃借料		2,395	
18 負担金補助及び交付金		2,219		18 負担金補助及び交付金		2,219	
		合 計	4,546			合 計	4,629

事務事業名	コンビニ交付サービス事業	事務事業No.	60304001017	所属課	企画課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成28年度より検討を開始した。平成29年12月1日時点で茨城県内の66%の市町村が導入済ということで、本市においても平成31年7月1日サービス開始している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
なし					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市民サービスの向上や事務の効率化が図られる。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 茨城県内の半数以上の自治体がサービスを開始していることで、市民サービスの観点からコンビニ交付を実施しなければならない。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある マイナンバーカードの普及率は、以前として低い状況にあるため向上の余地がある。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 コンビニ等で証明書が発行できなくなり、市民サービスが低下する。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 地方公共団体情報システム機構が提供するコンビニ交付に代わる手段がない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 削減の余地なし
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 桜川市に住所があり、マイナンバーカードを持つ全ての人が対象となるため、住民サービスに公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上					維持			○	×	低下		×	×	×
成果		コスト																								
		削減	維持	増加																						
向上																										
維持			○	×																						
低下		×	×	×																						
マイナンバーカードの交付数増加によりコンビニ交付利用者を拡大することで、窓口の業務軽減につながる。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>